

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	木管楽器修理概論Ⅱ	授業形態/必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、講師による修理実演や動画も使用して解説。					
到達目標					
どんな状況でも修理対応ができる基礎力と、さまざまな楽器への応用力の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	フルート/クラリネット 連動調整1 木管楽器 連動・バランス調整
【前期】 3～4回目	フルート/クラリネット 連動調整2 クラリネット レジスターキータンポ交換、リング高さ調整
【前期】 5～6回目	バネ交換・調整、作動不良調整
【前期】 7～9回目	フルート アゴ調整、ラックタンポ交換、ヘッドコルク交換、調整ネジ 吹奏検品
【前期】 10～13回目	サククス 連動調整、ネックコルク交換
【前期】 14～15回目	フルート キーコルク交換、ノックピン調整、リングキータンポ交換
【前期】 16～17回目	木管楽器 作動調整
【後期】 1回目	ダブルリード調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざま、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。
使用教科書	講義ごとにテキスト配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	金管楽器修理概論Ⅱ	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
基礎的な調整を理解したうえでの、実践方法、作業手順の組み立て、考え方などの応用法を、講師による修理実演や動画も使用して解説。					
到達目標					
どんな状況でも修理対応ができる基礎力とさまざまな楽器への応用力の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1回目	ハンダ付け セッティング、マウスパイプ交換
【前期】 2～4回目	ヘコ出し
【前期】 5回目	ホルン ストッパー交換
【前期】 6回目	トロンボーンスライド停止帯コルク交換
【後期】 1回目	固着修理
【後期】 2回目	トロンボーンスライド調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージすることと、他楽器での応用までを考えて取り組むこと。修理が必要な楽器の状態はさまざま、短時間で判断して作業工程を組み立てる必要があるため、管楽器リペア実習とともに繰り返し考察することが大切である。
使用教科書	講義ごとにテキスト配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	管楽器商品知識Ⅱ	授業形態/必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	16回(32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース、ピアノ/管楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品解説。					
到達目標					
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴・売りなど、販売修理知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホルン概要・製品解説
【前期】 5～8回目	トロンボーン概要・製品解説
【後期】 1回目	ユーフォニウム概要・製品解説
【後期】 2～3回目	チューバ概要・製品解説
【後期】 4～5回目	オーボエ概要・製品解説
【後期】 6回目	ファゴット概要・製品解説
【後期】 7回目	マーチングブラス概要・製品解説
【後期】 8回目	アクセサリー製品解説
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	異なる楽器でもその特徴などは類似する点が多いので、常に関連付けて考えられるように取り組むこと。講義だけでは活きた情報にはならないので、自ら楽器店などでその製品の特長などを観察・試奏することも重要になる。
使用教科書	「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、「カラー図鑑 楽器の歴史」河出書房新社、各メーカーカタログ、資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	修理実践論	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
故障の原因を究明し、その修理方法を理論的に検証したうえで、如何に修理するかを解説する。					
到達目標					
実践的な修理の方法論の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1回目	熱処理
【前期】 2回目	木製管体修正
【前期】 3回目	木管楽器調整
【前期】 4回目	フルート調整
【前期】 5回目	ピッコロ調整
【前期】 6回目	クラリネット調整
【前期】 7回目	サクソ調整
【前期】 8回目	金管楽器調整
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	常にその楽器をイメージし、他の楽器、構造での応用を考えて取り組むこと。ユーザーの要望に応えるための広範な知識として学ぶ必要がある。木管楽器、金管楽器修理概論を元にした講義のため、その内容は理解しておく必要がある。
使用教科書	講義ごとにテキスト配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	木管楽器リペアⅡ-A	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	210回(420単位時間)	年間単位数	14単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験 13年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
フルート・クラリネット・サクスの修理方法の実践。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画、接客対応をシミュレーションさせる。					
到達目標					
1年次の基礎を元に、より早く、より正確に楽器調整を完了させる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～135回目	フルート:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換 キコルク交換・バネ調整・パーツ交換 (78回)
	クラリネット:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換 バネ調整・パーツ交換 (78回)
	【後期】 1～75回目
	サクス:タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換 バネ調整・パーツ交換 (54回)
	オーボエ:基礎奏法(選択)
備考	楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。単に課題を終わらせるのではなく、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、自ら進んで考えることで応用力を養うことは大切である。
使用教科書	「木管楽器修理概論Ⅱ」「金管楽器修理概論Ⅱ」と同様

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	金管楽器リペアⅡ-A	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験 13年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トランペット・トロンボーン・ホルンの修理方法の実践。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画、接客対応をシミュレーションさせる。					
到達目標					
1年次の基礎を元に、より早く、より正確に楽器調整を完了させる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～18回目 【後期】 1～18回目	トランペット:ハンダ付け・抜差管調整・ピストンバルブ調整・パーツ交換 (18回)
	トロンボーン:スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換 (9回)
	ホルン:ロータリーバルブ調整・抜差管調整・パーツ交換 (4回)
	金管楽器:ヘコ出し (5回)
備考	楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。また、トロンボーンの基礎奏法の履修も含む。
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。単に課題を終わらせるのではなく、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、自ら進んで考えることで応用力を養うことは大切である。
使用教科書	「木管楽器修理概論Ⅱ」「金管楽器修理概論Ⅱ」と同様

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	管楽器選択リペア	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験 13年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
内容は原則として木管楽器リペア実習Ⅱ、金管楽器リペア実習Ⅱに準ずる。 各自が任意の修理作業を選択し、修理技術の向上を追求する。					
到達目標					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【後期】 1～76回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キコルク交換・バネ調整・パーツ交換
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換
	金管楽器リペア ヘコ出し
	その他 金属加工、ダブルリード楽器修理
備考	履修期間内で、任意の課題を選択する。
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。
使用教科書	「木管楽器修理概論Ⅱ」「金管楽器修理概論Ⅱ」と同様

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	管楽器業界演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	7回(28単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーや学園祭での接客演習、リクルートセミナー					
到達目標					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	楽器業界の企業による製品・技術セミナー①②
【後期】 1～2回目	学園祭：準備日①②
【後期】 3～4回目	学園祭：出店での接客実演とリペア実演①②
【後期】 5回目	学園祭：片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実際に仕事を体験することで、進路に対する興味を持ち積極的な行動ができるよう努めること。
使用教科書	適宜資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択修理Ⅱ-A	授業形態/必・選	実習	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験 13年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。			
授業概要				
内容は原則として管楽器リペア実習Ⅱに準ずる。				
到達目標				
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。				

授業計画・内容	
【前期】or【後期】 1～21回目	<p>木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ヘコ出し</p>
備考	木管楽器リペア実習Ⅱ、金管楽器リペア実習Ⅱと連動した授業のため、その履修時期により楽器ごとの実習班に分かれる。授業内容は順番に入れ替わる。
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。アンサンプルとの選択授業も含む。
使用教科書	「木管楽器修理概論Ⅱ」「金管楽器修理概論Ⅱ」と同様

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択修理Ⅱ-B	授業形態/必・選	実習	選択
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験 13年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。			
授業概要				
内容は原則として管楽器リペア実習Ⅱに準ずる。				
到達目標				
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。				

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～21回目	<p>木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換</p> <p>金管楽器リペア ヘコ出し</p>
備考	木管楽器リペア実習Ⅱ、金管楽器リペア実習Ⅱと連動した授業のため、その履修時期により楽器ごとの実習班に分かれる。授業内容は順番に入れ替わる。
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	繰り返し作業をするが、故障の状況に応じた課題以外の修理を行う場合もある。アンサンプルとの選択授業も含む。
使用教科書	「木管楽器修理概論Ⅱ」「金管楽器修理概論Ⅱ」と同様

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	アンサンブルⅡ-A	授業形態/必・選	実習	選択	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験 34年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽、ビッグバンド、室内楽からそれぞれの楽曲について合奏する。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上					

授業計画・内容	
【前期】or【後期】 1~20回目	ウインドアンサンブル 吹奏楽曲の合奏 ・基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・ジャンルによるリズムの取り方、吹き方の練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習
	室内楽 室内楽アンサンブル楽曲の合奏 ・基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・ジャンルによるリズムの取り方、吹き方の練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習
	ビッグバンドアンサンブル ビッグバンド楽曲の合奏 ・楽器編成と簡単な歴史について学習 ・各楽器で基本となるジャズの吹き方の練習 ・音程やリズムの練習 ・ブルーススケールを用いてのアドリブ練習 ・4、8、16、24、から1コーラスまでのアドリブ練習 ・楽曲練習
【前期】or【後期】 21回目	演奏会発表 前期末、または後期末にアンサンブルの練習成果を発表する。
備考	前期、または後期に上記3分野を選択することができる。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	アンサンブルⅡ-B		授業形態/必・選	実習	選択
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験 34年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽、ビッグバンド、室内楽からそれぞれの楽曲について合奏する。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上					

授業計画・内容	
【前期】and【後期】 1～20回目	ウインドアンサンブル 吹奏楽曲の合奏 ・基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・ジャンルによるリズムの取り方、吹き方の練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習
	室内楽 室内楽アンサンブル楽曲の合奏 ・基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・ジャンルによるリズムの取り方、吹き方の練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習
	ビッグバンドアンサンブル ビッグバンド楽曲の合奏 ・楽器編成と簡単な歴史について学習 ・各楽器で基本となるジャズの吹き方の練習 ・音程やリズムの練習 ・ブルーススケールを用いてのアドリブ練習 ・4、8、16、24、から1コーラスまでのアドリブ練習 ・楽曲練習
【前期】and【後期】 21回目	演奏会発表 前期末、後期末にアンサンブルの練習成果を発表する。
備考	学期ごとに上記3分野を選択することができる。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布